



# 令和5年度まちづくり報告会

令和5年10月から12月にかけて、市内の16会場でまちづくり報告会を実施し、市長から「これからのまちづくり」について説明するとともに、ご参加いただいた皆さんと意見交換を行いました。

たくさんのご意見をいただいた中から一部を紹介します。その他のご意見はホームページに掲載しています。

企画広報課 広聴広報係（本庁舎3階） ☎ 0739 (26) 9963

☑ <https://www.city.tanabe.lg.jp/kikaku/houkokukai.html>



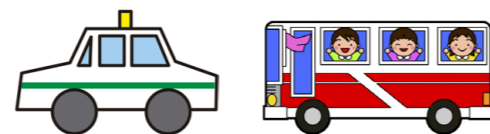
## 【公共交通】

**田辺市はどこに行くにも車が必要です。若いうちは運転できますが、高齢になり免許を返納すると、買い物や通院ができなくなります。気軽に外出できるような交通手段を考えてください。**

**A** 路線バスや住民バス、スクールバスなどの交通手段を確保していますが、高齢化に伴い、より利用しやすい交通手段のご要望を市内各地からいただいています。ご要望に応じた交通手段の導入について調査・研究を行っていますが、人口が少なく広大な面積の本市では、現時点で要望に沿った交通システムの導入には至っていません。

令和2年11月に改正された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律では、従来のバスやタクシーといった公共交通を最大限に活用し

た上で、地域の多様な輸送資源を総動員して、要望にきめ細やかに対応する取組を促すこととなっていることから、引き続き、調査・研究を行い、令和7年度から令和12年度が計画期間となる、地域公共交通計画策定の中でも、しっかりと議論を行ってまいります。



## 【道路整備】

**交差点に立ち、子どもの登下校を見守っていますが、横断歩道や一時停止の白線が薄れてきており、通行車両が徐行や一旦停止してくれないので危険です。子どもの安全を守るため、白線の整備をお願いします。**

**A** 横断歩道や停止線、センターライン等が薄くなっている箇所があることは認識しています。横断歩道や停止線などの道路標示については警察署、センターラインや外側線等の区画線については各道路管理者において設置及び管理をしています。

線が薄くなっている箇所は引き直しをさせていただいていますが、整備が必要な箇所が多いため、現場を確認させていただきながら順次対応していきたいと思っております。



## 【防災】

**民生委員として、支援が必要な方の情報を共有していますが、災害時に防災行政無線放送が聞こえないという声があります。家の中でも放送が聞こえるように機器を設置するという話があったと思うのですが、いつ頃設置されますか。**

**A** 携帯電話をお持ちでない方や、防災行政無線放送が聞き取りにくい方には、現在戸別受信機を貸し出していますので、防災まちづくり課（☎ 0739-26-9976）までお申し出ください。

また、放送後にもう一度放送内容を確認したい場合は、防災行政テレフォンガイド（☎ 0120-963-910、通話料無料）をご利用ください。



## 【町内会活動】

**人口減少や高齢化により地域のつながりが希薄化し、町内会加入者が減少しているため、町内会役員のなり手が不足し、町内会活動の維持が難しくなっています。町内会の負担を減らし、活動への支援をお願いします。**

**A** 町内会は、一定の地域に住む住民同士が協力して住みよい地域社会を作るために組織された団体です。その目的を果たすために、防犯灯などの身近な環境の整備・管理、区域内の清掃・美化、防災・防犯活動、さらには夏祭りなどの親睦行事が行われてきました。しかし、近年の人口減少と相まって高齢化が進み、また、個人の価値観の多様化などから、町内会活動に関心のない世帯が増えてきています。そのため、これまでのような地域活動の維持が難しくなっていることは認識しています。

そうした状況を受け、市としましては、皆様の負担をできるだけ減らすような方法について調査・研究していきたいと考えています。その一環として、「田辺らしい自治のあり方研究モデル事業」に取り組んでおり、令和5年8月から新庄地域をモデル地域として、世代も立場も異なる皆さんが集まって地域の将来を考える“住民の集い”が始まっています。「地域コミュニティをどう支えるのか」という重要な課題について、地域の皆様とともに丁寧に考えてまいります。



## 【雇用創出】

**高校卒業後、ほとんどの若者は田辺を出て就職しています。地元でも魅力ある仕事を創出できないでしょうか。**

**A** 令和5年7月時点のハローワーク田辺管内の有効求人倍率は1.47倍で、仕事を探している人よりも、働く人を探している事業所の方が多い状況となっています。市では田辺商工会議所等と連携し、市内での就職を希望される方を対象にした合同企業説明会「Uターンフェア」を開催しており、Uターン就職や地元への定着を促進しています。

また、人口減少に起因する様々な地域課題の解決に向け、自身の強みを生かしてビジネス視

点で取り組む人材の育成事業「たなべ未来創造塾」を平成28年度から実施しています。地域で活躍する人材がたくさん増えることで地域活性化を図り、ひいては、若者の「田辺で働きたい」「田辺に帰ってきたい」との想いにつなげていけるよう、引き続き取り組みます。また、今後も県や関係団体と連携し、地元の暮らしやすさ、地元で働くことのメリット、地元企業の魅力等をPRしながら、若者の流出防止となるような雇用機会の確保に努めていきます。